

# 「防災黄色旗」による管内一斉訓練と成果発表会

新宿区 榎町特別出張所地区町会連合会

## 1 事業の概要



防災黄色旗掲出の様子

### 【事業の目的】

当町会連合会では、災害時にできるだけ早く住民の安否確認を行い、効率的に救助を行える仕組みを整えることが課題となっている。

そこで、東京防災隣組の認定を受けたことを機に、各戸安否確認、避難所運営、災害地域本部（特別出張所）との連携などの一斉訓練を実施し、その成果と課題をまとめて、地域全体の防災力向上を図る。

### 【事業の内容】

- 地区内7避難所での自主訓練
- 榎地区防災マニュアルづくり
- ・ 安保確認、災害状況把握、災害地域本部や地区内避難所との連絡・連携について定める
- 防災ポスター・チラシによる参加呼びかけ
- 「防災黄色旗」を作成し、町会員全戸に配布
- 管内27町会、7避難所一斉訓練の実施
- ・ あらかじめ配布した「防災黄色旗」で玄関に無事の意味表示を掲げる
- ・ 「防災黄色旗」を集計し、速やかな安否確認を行う
- ・ 各町会の町会長、防災部長は管内7箇所にある避難所に集り、避難所を開設し、無線機・自転車・徒歩による災害地域本部との想定被害情報・安否確認情報の伝達訓練を行う
- 成果発表会を開催
- 訓練の成果及び今後の課題を話し合う



町会の担当者による黄色旗の集計

## 2 事業の効果

防災黄色旗を配布したことにより、安否確認を速やかに行うことができた。

町会によっては事前説明や役割分担が徹底され、防災黄色旗の配布数の90%を超える掲示数につながった。

訓練後、地震が発生した際に「無事」を知らせる防災黄色旗が、玄関先に掲示されているのが見受けられ、意識の向上が見られた。

余震で被害を受けた際の安否確認がしにくい、レンタル携帯無線・防災固定無線がつながりにくい、といった課題が見つかったため、徒歩・自転車での情報伝達が重要になることが分かった。

## 3 事業の主な費用

資料の印刷経費

防災黄色旗、カラーマルチペーパー購入費

成果報告会通知切手代

打合せ会場使用料

打合せお茶代



各町会の安否確認訓練の結果を各避難所に報告



本部では、収集した情報を避難所ごとのボードにまとめる